

緊急報告会

「住まい難民」を絶対に作るな

—東日本大震災被災者の住宅再建の現状と課題—

東日本大震災から五年が経過したが、災害公営住宅の進捗率は50%以下であり、区画整理や防災集団移転などによる宅地整備の進捗率も20~30%に止まっている。多く被災者が住宅を再建できない状況であり、未だに再建の目処さえたっていない被災者も多い。仮設住宅の閉鎖にともなって『住まい難民』を生みかねない危機感が現地に生まれている。

そこで、厳しい状況にある仙台市や石巻市を中心に住宅再建の現状と課題についての報告会を開催する。今被災地で起こっていることは、緊急に解決が求められるだけでなく、今後の災害復興、さらに住宅政策そのものに鋭く問題を投げかけている。

この報告会では、現地で住宅再建に取り組んでいるお二人に現状をじっくりお話し頂く。

プログラム:

開会あいさつ

—住宅再建の現状を概観する

日本住宅会議（立命館大学教授） 塩崎 賢明

報告 1

—宮城県の現状（仙台市を中心に）

新建みやぎ支部代表幹事 阿部 重憲

報告 2

—石巻市の現状（「住まい難民」を作らない取り組み）

石巻住まい連 佐立 昭

日時:2016年2月27日(土)2:30~5:00

場所:都市住宅とまちづくり研究会 会議室

千代田区神田東松下町 33 番地 COMSHOUSE2階

資料代:500円



主催:新建築家技術者集団東日本大震災復興支援会議/
日本住宅会議/国民の住まいを守る全国連絡会議

問合せ先:新建復興支援会議事務局:三浦史郎 090-8013-4549